

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善 方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新教育課程において、工業教育の特色を生かし、社会で必要とされる専門性の向上を図る教育課程を提供する。</li> <li>・自ら課題を発見し解決する力の育成と主体的に学ぶ意欲の向上を図る。</li> <li>・学校行事や生徒会活動を通じ、自他の多様性を尊重させ、生徒の主体的な活動の促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教育課程を再検討し、ICTを活用した授業力向上や、生徒の工業への関心を高め、積極的に参加する意欲を向上させる。</li> <li>②生徒会行事の円滑な運営を支援し、生徒の自立心を育成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①令和6年度入学生に対し本校の特色を生かした新しい魅力ある教育課程を提供する。授業用コンテンツの充実と授業改善としてICTに注力した研究授業を実施する。</li> <li>①資格取得への指導体制を構築し支援するとともに、生徒の行事等への参加を促す。</li> <li>②学校行事等において、企画・準備段階から生徒が主体的に取り組むよう支援していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①令和6年度入学生に新しい特色のある教育課程は提供できたか。授業用コンテンツの充実と授業でのICTの活用は増えたか。</li> <li>①資格取得の受験者数・合格者数は増加したか。行事等に生徒が参加する機会を設けることができたか。</li> <li>②学校行事等において、生徒が主体的に活動でき、成功体験を積み重ねることができたか。</li> </ul>					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の成長を意識させ、社会人としての基礎力を身に付けさせる。</li> <li>・学校行事や部活動を通じて、責任感、協調性、自主性の涵養を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教育相談体制を強化し職員間の情報共有を密にしながら、支援教育の視点を持って、問題行動等の未然防止と問題解決を図る。</li> <li>②学校行事や部活動における生徒の主体的な活動への支援を通して、自立心や責任感を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①課題や問題を抱えた生徒の課題解決に向け、教育相談体制を整え、SCやSSW、教育相談コーディネーター等と連携しながら組織的な対応をする。配置されたスクールメンターの有効活用も進める。</li> <li>②各種委員会や部活動において、生徒一人ひとりの役割を理解させながら生徒の活動を支援する。</li> <li>②挨拶・服装・頭髪・遅刻等、粘り強く指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学年や教科間及び教育相談担当との連携による組織的な支援教育を充実させることができたか。</li> <li>②学校行事や部活動において、生徒が主体的に取り組むことにより、各種委員会や部活動の活性化が図れたか。</li> <li>②遅刻指導等の件数が前年度より減少したか。</li> </ul>					
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの進路実現に向けた進路指導の充実を図る。</li> <li>・社会的・職業的自立に資するよう、労働観、職業観を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①3年間を見通した進路の早い段階での意識向上を図るためのキャリア教育プランを策定する。</li> <li>②外部機関と連携し、進路における最新情報を得ることで、労働観や職業観及び社会規範の意識向上や適切な進路選択を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①グループ主催の進路指導以外に担任との連携によりLHRを利用した、自己理解や適正理解、様々な情報を収集し社会人として必要な能力及び資格を身につけさせるようなカリキュラム作成を行う。</li> <li>②進路選択において自己の適正や実力を把握するための検査や説明会を複数回実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①3年間のLHR活用における進路に関する自己や適正の理解、社会人としての能力向上、資格取得の重要性についてのカリキュラムを作成し活用できたか。</li> <li>②進路に関する有益な情報を生徒に周知することで、生徒の意識が向上し、労働観や職業観及び社会規範の意識向上が図</li> </ul>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善 方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域とともに育つ向工」を実現し、「地域で活躍する向工生」を育むために、地域社会との連携による教育活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「地域とともに育つ向工」の実現をめざし、分かりやすく本校の教育活動を発信する。</li> <li>②「地域で活躍する向工生」を育むために、コロナ禍で制限されていた地域や企業との連携事業を増進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ホームページの動画等を充実させ学校活動や魅力について積極的な広報活動を行う。また、学校説明会の内容を再検討し、学校体験等も充実させる。</li> <li>②自動ハンドベル演奏やものづくり体験教室等において、他者に伝わるものづくりの楽しさを通して、自ら考える力やコミュニケーション能力を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ホームページを頻繁に更新し、学校行事等の紹介を通して学校の魅力を積極的かつ詳細に発信することができたか。また、学校説明会参加者、受検者が増えたか。</li> <li>②ものづくり体験等に積極的な生徒参加が促進でき、自ら考える力やコミュニケーション能力、他者へ伝える楽しさ等のものづくり教育ができたか。</li> </ul>					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内の情報機器の整備と防災教育を推進し安全安心な教育環境を構築する。</li> <li>全ての職員の資質向上を図るとともに風通しの良い職場づくりをめざし教職員の事故不祥事を未然に防止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報機器の有効活用や、災害時の安全確保等、生徒の主体的な行動を育成する。</li> <li>②保護者等・地域に信頼される学校づくりをめざし、不祥事防止に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報機器の利用に関して研究授業や研修会を行う。</li> <li>①実践的な避難訓練を計画的に行い、成果と課題を検証し、次へ活かせるようにする。</li> <li>②私費会計等、担当者向け研修を行い、知識を身に付け、また、全職員が連携・協力して未然防止の意識啓発を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教員が授業への効果的な利用ができたか、また授業を受けた生徒の反応、変化はどうか。</li> <li>①防災訓練実施後の振り返りシート等で理解度や効果を図る。</li> <li>②全職員で不祥事ゼロの意識を持ち、達成できたか。</li> </ul>					